

「祝福」の不思議

(申命記33・1〜29)

一、祝福のことはをめぐって

1節を()ご覧ください。〈次は神の人モーセが、その死を前にしてイスラエルの子らを祝福した、祝福のことはである。〉。モーセは、自身の死期が近いのを知って「祝福のことは」を唱えました。ですが、単なる祝福のことはではありません。百二十歳のモーセが語ったことは、主からの預言のことはでもあったと言えます。

祝福のことはは、ルベンから始まります。ルベンは、ヤコブとレアの間に生まれた長子でした。6節です。〈ルベンは生きて、死なないように。その人数が少なくても。〉と。これ見ますと、ルベン族はかなり弱っていたように見受けられます。

7節にはユダ、すなわちユダ族への祝福が語られています。〈ユダについては、こう言った。「主よ。ユダの声を聞き、彼をその民のもとに連れ戻してください。彼は自分の手で戦っています。彼の敵の前で助けとなってください。い。〉とあります。ユダは、ヤコブとレアの間に生まれた第四子でした。ユダ族に私たちキリスト教会は、特別な関心を寄せます。なぜなら、神が遣わされ

た救い主イエス・キリストは、ユダ族の子孫として生まれられたからです。ところが、モーセの祝福のことはには、そのことが一切言及されていません。モーセを五百年ほど遡って、創世記49章の「ヤコブの祝福」で語られています。〈王権はユダを離れず、王笏はその足の間を離れない。ついには彼がシロに來て、諸国の民は彼に従つ。〉と。

二、祝福は神の御計画

聖書に書かれている祝福のことは、すなわち預言のことはは、悪いことは何一つ実現する必要はありません。このように語りますと、「十二部族からなるイスラエルは北王国と南王国に分裂し、北王国はアッシリアに滅ぼされ、南王国はバビロンに滅ぼされたではないですか」と思われるかもしれません。ですが、悪いことが起こるのが御意思ではありませんでした。申命記28章に記されていますようにです。逆に言えば、主の御意思に背を向けたまま、主の祝福だけを期待しても、そうはならないということなのです。聖書の預言は、運命論的なものではありません。将来は、私共がつくって行くものです。

聖書に戻りまして、8節を見てまいります。〈レビについては、こう言った。「あなたのトンミムとウリムを、あなたにある敬虔な者に与えてください。あなたは彼をマサで試み、メリバの水

のほとりで彼と争われました。〉とあります。8節より11節まで、レビ族に対する祝福のことはが語られています。レビ族だけは、他の部族のように相続地を持たず、主の御計画によって、幕屋に関する努めに従事しました。レビ族は他の部族と異なり、聖別された務めに当たりました。その、レビ族への祝福のことはを見ますと、興味深いです。

「あなたのトンミムとウリムを、あなたにある敬虔な者に与えてください」とあります。トンミムとウリムは、昔大祭司が主のみこころを占うために用いた道具でした。ですが占いと同じであるとして、やがて用いられなくなりましたが、モーセの時代には使っていたようです。ちなみに〈あなたにある敬虔な者〉とはレビ族のことです。

8節後半に〈あなたは彼をマサで試み、メリバの水のほとりで彼と争われました〉とあります。〈あなたは〉は、主です。〈彼を〉は、レビ族です。この記述の元となる出エジプト記17章を見ますと、民がモーセと争ったと書いてありまして、レビ族が逆らったとは書かれていません。ですが、モーセ自身か語ったことばとして、〈メリバの水のほとりで彼(レビ族)と争われました〉とあるので、実際はそういうことだったのでありましょう。

9節を()ご覧ください。〈彼は(レビ族は)自分の父と母について『私は彼ら

を顧みない』と言い、自分の兄弟も認めず、自分の子さえ知らないとし、ただ、あなたの仰せのことばを守り、あなたの契約から目を離しませんでした。〉とあります。この記述は何を語っているのでしょうか。それは、レビ族は、主の前に献身していたことです。自分の父と母以上に神のことを優先し、自分の兄弟、息子娘以上に神のことを優先していたということです。どうしてレビ族には、このようなことができたのでしょうか。それは、神の賜物と召しによります。レビ族の真似をしようとしても、他の部族にはできなかったはずで、そういうレビ族だったからこそ、10節の働きがあったわけです。〈33・10〉と。そして神の賜物と召しに忠実であったからこそ、11節の祝福のことはが語られているわけです。〈33・11〉と。

三、神の祝福と私たち

神は主イエス・キリストによって、天の祝福を現されました。ですが祝福は、人によって異なります。ある人は、病を抱え、障がいを抱えつつ、神の祝福が現れることになり、別の方は病が奇跡的にいやされ、その人を取り巻く問題がきれいに解決されることによって、神の祝福が現れます。

はっきりしているのは、神の祝福はイエス・キリストによって余すところなく現れたことです。